

事務職員能力認定制度に基づく研修が、**無料**になりました

※ただし、DVD 個人研修は従来どおり有料

Q 1 そもそも事務職員能力認定制度って何ですか？



事務職員能力認定制度とは、法律事務所に勤務する事務職員が弁護士業務を補助するために必要な実体法及び手続法並びに弁護士倫理に関する知識を習得し、その能力を向上させることを目的として、2008年から日弁連が実施している全国統一の事務職員研修と認定試験の制度です。

2018年9月からは、研修受講料が無料となったことに加え、会員弁護士も受講できるように制度改正されました（DVD個人研修及び試験受験料は従来どおり有料です。）。

認定試験は、毎年実施され、第9回までの合計で、のべ6479人が受験をして4179人が合格しており、すでに4000名を超える実績となっています。この機会に本研修・試験を是非御活用ください。

Q 2 研修を受講する方法は？

A 2-1 中央研修（東京の弁護士会館講堂での集合研修）

生講義研修（2018年度より受講料は無料です）

基本研修8科目、応用研修7科目の合計15科目（番外編1科目を含めると16科目）は2年サイクルで最新の内容となるよう実施しており、そのため生講義研修を東京の弁護士会館で実施して、DVD収録しています。

中央研修会日程 **2018年9月申込みスタート**

- ①2018年10月20日（土）「民事保全手続」
- ②2018年11月17日（土）「家事手続、人事訴訟」
- ③2018年12月15日（土）「相続」
- ④2019年1月19日（土）「成年後見」
- ⑤2019年2月16日（土）「登記」
- ⑥2019年3月16日（土）「供託・担保取消」

※時間はいずれも13:30～15:30



A 2-2 弁護士会研修（DVDを利用した単位会での研修）

全国各地の弁護士会でDVD受講できます（2018年度より受講料は無料です）

日弁連から中央研修を収録したDVDを全国の弁護士会に配布して、事務職員を対象としたDVD研修等の実施を要請しています。

概ね中央研修から2週間程度の間隔での実施を要請していますが、各地でのDVD研修の具体的な日程などの実施要領については、地元の弁護士会にお問い合わせください。

地域により独自の生講義を含めた集合研修を実施している弁護士会や受講申込者に個別にDVDを貸し出している弁護士会もあります。

A 2-3 DVD購入による個人研修



いつでも、どこでも、なんどでも

個人での受講ニーズに応えるため、一講座ごとにDVDを購入できるようにしています。中央研修会の研修講義を収録したDVDであり、研修で配布されたレジュメや資料も添付されます。

場所や時間に関係なく受講者の都合で受講でき、復習にも活用できます。

上記①～⑥（2018年度制作）、下記11科目（2015年度～2017年度制作DVD）

- ⑦「訴訟以外の民事手続、裁判外手続」
- ⑧「戸籍ならびに登録簿の仕組みと見方」
- ⑨「自己破産手続、個人再生手続」
- ⑩「刑事、少年事件、事務職員倫理」
- ⑪「最近の制度改正、注意事項等」
- ⑫「民事訴訟と事務職員の役割」
- ⑬「民事執行総論、債権執行」
- ⑭「不動産競売、その他の民事執行」
- ⑮「債務整理総論、破産ならびに個人再生手続の概要」
- ⑯「破産管財」
- ⑰「民事訴訟の構造、弁護士倫理と事務職員倫理」

DVD料金 ①～⑥セット ¥8,000- ⑦～⑰セット ¥15,000-
バラ 1科目 ¥1,600- 他

Q3 具体的な研修内容について教えてください

A 3-1 基本研修

主な対象：2～5年目／内容：法律事務全般の重要事項

各分野の制度の概略や重要事項を解説し、基本の理解を目的とします。
自信を持って法律事務を行うために必要な知識の習得を目指します。

テーマ：①民事訴訟と事務職員の役割 ⑥戸籍ならびに登録簿の仕組みと見方
②民事執行総論，債権執行 ⑦相続
③民事保全手続 ⑧刑事・少年事件，事務職員倫理
④債務整理総論，破産，個人再生手続の概要
⑤家事手続，人事訴訟

A 3-2 応用研修

主な対象：基本研修習得者／内容：特殊分野，やや難易度の高い事項

より実践的で実務に直結する内容を解説し，レベル向上を目指します。
直近の改正や判例などの実務情報の提供も工夫します。

テーマ：①訴訟以外の民事手続，裁判外手続 ⑤成年後見
②不動産競売，その他の民事執行 ⑥登記，供託，担保取消
③自己破産手続，個人再生手続 ⑦民事訴訟の構造，弁護士倫理
④破産管財 事務職員倫理

Q4 講師やテキストは？

各研修の講師は，1～2人で，弁護士や経験豊富な事務職員が担当します。

講師は毎年度選定され，配布される講義レジュメも毎回工夫された実務に役立つ内容になっています。

また，参考書籍として紹介している日本弁護士補助職協会発行のテキスト「基本研修テキスト」・「応用研修テキスト」を用いての学習も可能です。

Q5 研修の受講申し込み方法は？

- ★中央研修・弁護士会DVD研修・日弁連に受講申込み
日弁連ホームページから申込書をダウンロードして記入し，日弁連にFAX
- ★DVD購入による個人研修・日弁連に受講申込FAX後に代金支払い

2018年度の研修会の受講受付期間は，9月から11月30日まで
申込方法等詳細は，日弁連ホームページ「お知らせ」を参照ください。

Q6 受講をしてみたの感想を教えてください



この研修を受けて自信が
つきました。専門的な実務
の理解が少しずつできる
ようになりました。

弁護士業務に貢献できるこ
とが増えました。依頼者の
力になれていると思うとや
りがいを感じます。

訴訟や必要書類など，弁護士から「確
認して」と言われた時，すぐ対応で
きるようになりました。実務にとて
も役立っています。

今後も法律手続に
精通し，さらにレベ
ルアップをしてい
きたいです。



弁護士は・・・



認定研修を通じ，常に法的
根拠を確かめる習慣を持
ち，手続のプロになること
を期待します。

日頃の事務について，自
信を持って頂くことを
期待します。

(2011年日弁連弁護士業務改革シンポジウム 事務職員対象アンケートより)